

# まつど議会だより

発行/松戸市議会  
編集/広報委員会  
千葉県松戸市根本387-5  
TEL 047(366)7382



松戸市議会の情報はホームページからもご覧いただけます。(http://www.city.matsudo.chiba.jp/gikai/index.html) 右のQRコードもご利用ください。(パソコン版)



## 旧徳川昭武庭園(戸定邸庭園)が 国指定名勝になりました。

2014年11月21日の文化審議会答申を経て、旧徳川昭武庭園(戸定邸庭園)が国の名勝に正式に指定されました。戸定が丘歴史公園では、季節ごとに折々の風景を楽しむことができます。



### 3月定例会

平成27年3月定例会を2月24日から3月24日まで開催しました。今定例会では、市長・教育長の施政方針等に対する各会派の代表質問を行いました。  
また、市長から提出のあった人権擁護委員候補者の推薦議案2件に同意し、さらに、26年度補正予算案8件を含む先議議案12件を可決しました。  
このほか、市長が提出した27年度予算に関する議案10件や条例などの一般議案31件、市民の方から提出された陳情1件を各委員会で審査しました。  
最終日には、これらの案件のほかに追加議案として市長が提出した条例の改正1件、教育委員会教育長の任命1件、教育委員会委員の任命1件および議員提出議案10件を上程し採決しました。(2面に審議結果、3面に予算審査の主な質疑、4面に討論を掲載)

### 議会を傍聴しませんか

●問い合わせ先 市議会事務局庶務課  
TEL 047(366)7381

### 声の議会だよりをご利用ください

松戸市障害者福祉センターでは、松戸朗読奉仕会の協力を得て、視覚障害の方を対象に、議会だよりを朗読した録音物の貸し出しをしております。  
詳しくは左記までご連絡ください。

●問い合わせ先 松戸市障害者福祉センター

(ふれあい22内)

TEL 047(383)7111

住所 松戸市五香西3-7-1

### 6月定例会の開催予定

平成27年松戸市議会6月定例会は、6月9日(火)から6月25日(木)までいずれも10時より開催する予定です。  
請願・陳情は、5月29日(金)正午までに提出してください。

#### 期日 主な内容

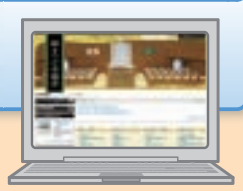
- 6月9日(火) 招集日・本会議(議案提案理由説明)
- 10日(水) 本会議(一般質問)
- 11日(木) 本会議(一般質問)
- 12日(金) 本会議(一般質問)
- 15日(月) 本会議(一般質問)
- 16日(火) 本会議(一般質問・議案質疑)
- 18日(木) 総務財務常任委員会
- 19日(金) 健康福祉常任委員会
- 22日(月) 教育環境常任委員会
- 23日(火) 建設経済常任委員会
- 25日(木) 本会議(議案等の採決)

※このほか、随時委員会が開催される場合があります。また、開催予定が変更となる場合もありますので、ホームページでご確認ください。

### 松戸市議会の情報を ホームページで公開しています。

松戸市議会ホームページへ

<http://www.city.matsudo.chiba.jp/gikai/index.html>



本会議の様子は、松戸市ホームページのまつど市議会の「インターネット議会中継」からご覧いただけます。

ライブ放映は、本会議開始直前から終了まで議場の様子を放映します。

過去の議会中継は、会議の翌日夜からの公開となります。また、「松戸市議会会議録検索システム」では、過去の会議録も公開しておりますので、どうぞご利用ください。

インターネット放映アクセス件数 37万4300件  
(平成17年6月開設～平成27年3月末)



議会中継



会議録検索

## 3 月 定 例 会 審 議 結 果

番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	採決	番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	採決
<b>市長提出議案</b>					<b>議員提出議案</b>				
第71号	平成26年度松戸市一般会計補正予算（第7回）	総務財務	可決	多数意見	第110号	松戸市介護認定審査会条例の一部を改正する条例の制定	健康福祉	可決	全会一致
第72号	平成26年度松戸市国民健康保険特別会計補正予算（第2回）	健康福祉	可決	多数意見	第111号	松戸市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	健康福祉	可決	全会一致
第73号	平成26年度松戸市松戸競輪特別会計補正予算（第1回）	建設経済	可決	多数意見	第112号	松戸市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	健康福祉	可決	全会一致
第74号	平成26年度松戸市下水道事業特別会計補正予算（第1回）	建設経済	可決	全会一致	第113号	松戸市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定	健康福祉	可決	全会一致
第75号	平成26年度松戸市介護保険特別会計補正予算（第3回）	健康福祉	可決	多数意見	第114号	松戸駅周辺まちづくり委員会条例の一部を改正する条例の制定	建設経済	可決	全会一致
第76号	平成26年度松戸市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2回）	健康福祉	可決	多数意見	第115号	松戸市自転車の放置防止に関する条例の一部を改正する条例の制定	建設経済	可決	全会一致
第77号	平成26年度松戸市水道事業会計補正予算（第1回）	建設経済	可決	全会一致	第116号	松戸市消防団条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	全会一致
第78号	平成26年度松戸市病院事業会計補正予算（第3回）	病院特別	可決	多数意見	第117号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	教育環境	可決	全会一致
第79号	平成27年度松戸市一般会計予算	予算審査特別委員会	可決	多数意見	第118号	契約の変更（松戸市防災行政無線同報系システム再整備工事）	総務財務	同意	全会一致
第80号	平成27年度松戸市国民健康保険特別会計予算		可決	多数意見	第119号	契約の変更（(仮称)松戸市立関台小学校新築電気設備工事）	教育環境	同意	全会一致
第81号	平成27年度松戸市松戸競輪特別会計予算		可決	多数意見	第120号	契約の変更（(仮称)松戸市立関台小学校新築機械設備工事）	教育環境	同意	全会一致
第82号	平成27年度松戸市下水道事業特別会計予算		可決	多数意見	第121号	あっせんの申立て	教育環境	同意	全会一致
第83号	平成27年度松戸市公設地方卸売市場事業特別会計予算		可決	多数意見	第122号	人権擁護委員候補者の推薦（森めぐみ氏）	-	同意	全会一致
第84号	平成27年度松戸市駐車場事業特別会計予算		可決	全会一致	第123号	人権擁護委員候補者の推薦（藪田京子氏）	-	同意	全会一致
第85号	平成27年度松戸市介護保険特別会計予算		可決	多数意見	第124号	平成26年度松戸市一般会計補正予算（第8回）	総務財務	可決	多数意見
第86号	平成27年度松戸市後期高齢者医療特別会計予算		可決	多数意見	第125号	契約の締結（(仮称)新松戸地域学校跡地有効活用施設整備工事）	建設経済	同意	多数意見
第87号	平成27年度松戸市水道事業会計予算		可決	全会一致	第126号	松戸市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定	健康福祉	可決	多数意見
第88号	平成27年度松戸市病院事業会計予算		病院特別	可決	多数意見	第127号	教育委員会教育長の任命（伊藤純一氏）	-	同意
第89号	松戸市2020年東京オリンピック・パラリンピックやさシティおもてなシティ推進会議条例の制定	総務財務	可決	全会一致	第128号	教育委員会委員の任命（武田司氏）	-	同意	全会一致
第90号	松戸市いじめ調査委員会条例の制定	総務財務	可決	全会一致	<b>陳情</b>				
第91号	松戸市行政手続条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	全会一致	第10号	戦没者御遺骨帰還に関する法律制定に賛成する意見書提出を求める陳情	取り下げ承認		
第92号	松戸市職員定数条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	全会一致	第12号	坂川流域内、六間川・横六間川周辺地域の冠水及び浸水予防対策強化を求める陳情	建設経済	採択	全会一致
第93号	特別職の職員の給与及び費用弁償の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	全会一致	<b>議員提出議案</b>				
第94号	松戸市一般職の職員の給与に関する条例及び松戸市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	多数意見	第39号	政党助成金を廃止するよう求める意見書	-	否決	多数意見
第95号	松戸市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	全会一致	第40号	生活保護費の引き下げをやめるよう求める意見書	-	否決	多数意見
第96号	まちづくり用地活用事業基金条例の制定	総務財務	可決	多数意見	第41号	介護報酬の引き下げをやめるよう求める意見書	-	否決	多数意見
第97号	松戸市庁舎建設基金条例の制定	総務財務	可決	全会一致	第42号	人間らしく働くことができる雇用のルール確立を求める意見書	-	否決	多数意見
第98号	松戸市公共施設再編整備推進審議会条例の制定	総務財務	可決	全会一致	第43号	民主主義国家として沖縄・辺野古への米軍新基地建設をやめるよう求める意見書	-	否決	多数意見
第99号	松戸市市税条例の制定	総務財務	可決	全会一致	第44号	ヘイトスピーチ対策について法整備を含む強化策を求める意見書	-	可決	多数意見
第100号	松戸市市税条例等の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	全会一致	第45号	都市農業の振興策強化等を求める意見書	-	可決	全会一致
第101号	松戸市手数料条例の一部を改正する条例の制定	建設経済	可決	全会一致	第46号	ドクターヘリの安定的な事業継続に対する支援を求める意見書	-	可決	全会一致
第102号	松戸市行政財産使用料条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	全会一致	第47号	「核兵器のない世界に向けた法的枠組み」構築への取り組みを求める意見書	-	可決	全会一致
第103号	松戸市立小中学校空調設備整備PFI事業者選定委員会条例の制定	教育環境	可決	多数意見	第48号	松戸市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定	-	可決	全会一致
第104号	松戸市いじめ防止対策委員会条例の制定	教育環境	可決	全会一致	※議案等の内容についてはホームページをご覧ください。				
第105号	保育の実施に関する条例を廃止する条例の制定	健康福祉	可決	全会一致					
第106号	松戸市老人ホーム入所判定委員会条例の制定	健康福祉	可決	全会一致					
第107号	松戸市老人福祉施設等整備事業者選考委員会条例の制定	健康福祉	可決	全会一致					
第108号	松戸市保育所設置条例の一部を改正する条例の制定	健康福祉	可決	全会一致					
第109号	松戸市介護保険条例の一部を改正する条例の制定	健康福祉	可決	多数意見					



# 平成27年度

## 予 算 討 論

平成27年度予算案について、定例会最終日に討論を行いました。

### 日本共産党

一般会計、国民健康保険・競輪・公設地方卸売市場・介護保険・後期高齢者医療特別会計に反対し、他4会計に賛成する。

平成27年度予算が、市民の願いに合致したものとされているか、優先すべきものがきちんと見定められているのかという観点から予算審査を行った。

一般会計では、病児保育の開始、空き家対策の取り組みなどは評価する。一方、番号制度導入事業は数多くの問題が指摘されるなど認めがたく、北

山会館の指定管理については、情報公開のあり方等の是正に向けた見直しを強く求める。

国保会計では、国保料を引き下げ、支払える制度に改めていくよう求め、反対する。競輪会計では、自治体行政をキャンブルに頼るべきではないとして反対する。市場会計では、民営公設借り上げ方式の問題と、1市2市場の非効率性を指摘し、反対する。介護保険会計では、自治体独自の負担軽減策に取り組みよう強く求め、反対する。後期高齢者医療会計では、社会的弱者である高齢者を切り離す制度そのものが問題だと指摘し、反対する。

### 松政クラブ

平成27年度一般会計、各特別会計および各企業会計に賛成する。

財政健全化を図る中、人口減少社会は間違いなく近づいている。今回は、特に人口・税収をいかに増加に転じ、将来的な視点があるかを検証した。

公共施設の再編は、基本計画策定と専門部署の設置に期待する。子育て支援では、利用者のニーズにあったサービスが受けられるよう「利用支援コンシェルジュ」が配置される。予防接種の助成事業はワクチンの供給等、

適切な対応を図られたい。農業の活性化や地産地消の推進、後継者育成に、引き続き尽力を願う。成果が出ている企業誘致では、今後も産業アドバイザーの活躍を期待する。

橋梁は地震等災害時の重要な生命線であり、計画どおり補修工事を進められたい。(仮称)関台小学校は予定通りの開校をお願いする。また、歳入では市税収入の確保に努め、財政調整基金の取り崩しは慎重にされたい。水道事業は、健全な経営と水の安全確保に、引き続き尽力を願う。各会計とも、一般会計からの繰り入れ等に依存しない体質強化に努められたい。

### 清松会

平成27年度病院事業会計に反対し、一般会計、各特別会計および水道会計に賛成する。

財政上は緩やかな回復基調にあるとされるが、これまでの右肩下がりでの厳しさにおいて、一般会計予算内の市単独事業が年々絞られる一方、歳入に特別な切り口もない。

一般会計では臨時財政対策債、競輪事業会計ではイベントや企画に頼った車券の販売見込み、水道事業会計では水道料金の値上げなどに解決すべき課題があり、予算の個

別案には賛同できかねるものもある。しかしながら、新たな教育長制度や介護保険事業における総合事業への積極的な展開など、大いに評価し期待する面もあることから、市民を勇気づけるビジョンを持って行政運営に当たることが要望し、賛成する。

病院事業会計は、26年度だけで計13億円にのぼる一般会計からの赤字繰り入れがあり、26年10月臨時会で附帯決議が出されたにも関わらず三回目の補正予算がなされた。緩和ケア病棟改修工事費は、収益の伴わない支出の可能性があると考え、反対する。

### 公明党

平成27年度一般会計、各特別会計および各企業会計に賛成する。

第一に、新年度から始まる制度改正や新しい取り組みに対して着実に対応した予算であることを評価する。具体的には、①子ども総合計画、②生活困窮者自立支援制度、③いきいき安心プランV

まつど、④教育委員会制度改革、⑤まち・ひと・しごと創生法への対応の5点である。第二に、中長期的な課題への取り組みとして、①松戸駅周辺まちづくり基本構想、②

学校冷房化事業、③予防接種事業、④2020年東京オリンピック・パラリンピックへの対応、⑤排水路整備事業を評価する。また、松戸駅周辺まちづくり基本構想では、

相模台地区の整備について、民間活力を活用する中で、高低差のある地形を生かした、本市のランドマークとなるような複合施設の整備を要望する。土木費の新規事業「交通利便性向上検討事業」では、デマンド型交通の導入についても、福祉的な視点が必要と考えられることから、高齢者や障がいのある方など、利用者の目線に立った検討を要望する。

### 市民力

平成27年度病院事業会計に反対し、一般会計、各特別会計および水道事業会計に賛成する。

市税収入見込み額が前年を1億円上回ったが、状況は相変わらず厳しい。臨時財政対策債の発行の増加も問題である。歳入のデジタルサイネージ事業では、27年度は松戸駅のみだが、28年度以降は他の駅でも実施すること

を期待する。歳出の総務費では、防犯灯のLED化を進めるため、電気料金一括前払い制度活用を要望する。民生費の安心

電話サービス事業では、プロポーザルによる事業者選定により、経費削減とサービスの向上が見込まれることを評価する。子育て世代を呼び込むため、子育て部門と住宅政策部門の連携を求める。

介護保険会計では、36年度から38年度の介護保険料基準月額を全国平均以下にするという長期的視野に立った目標があることを評価する。病院事業会計では、事前の説明がなく計画が大幅に変更されたこと、経営の改善に疑問がある。攻めの収益拡大と守りの固定費改善で攻守バランスのとれた病院経営を要望する。

### 市民クラブ

平成27年度一般会計、各特別会計および各企業会計に賛成する。

地方創生で自治体に主体性が求められる中、市の将来を見据え、個々の事業が全体の目的に合致するか、ブランドデザインを描くためどうすべきかに留意し審査した。

まず歳出では、大規模団地等活性化事業を成長戦略の中に位置づけるよう要望する。高齢者対策は、適切な地域包括ケアシステムの構築に更なる尽力を願う。子ども医療費助成事業では、医療費

の抑制等を忘れず安易な助成施策とならぬよう要望する。自転車駐車場整備等は、基本構想や基本計画の下で実施されねばならず、慎重に進められたい。電子黒板機能付き

プロジェクトの試験的導入は費用対効果からの検証を要望する。国の名勝指定を受けた戸定邸庭園は、復元工事により観光の核となりうるもので、一層誇れる施設となることを期待する。スポーツ活動支援では、オリンピック・パラリンピックも見据えた施策展開を望む。また、新たな歳入確保も重要な視点であることから、戦略的に歳入を生み出す策を講じられたい。

### 社民・無所属

平成27年度一般会計、各特別会計および各企業会計に賛成する。

歳出・歳入ともに大枠では評価するものだが、放射能被ばくの健康問題に関する施策の不十分さを指摘する。また、市内で経済が回る仕組みを、市民参加を取り入れながらどう構築するかという視点を模索し、研究・検討されるよう要望する。

総務費のシテイプロジェクトは、市民の情報力に期待し連携している点を評価する。今後、ホームペ

ージも合わせての発進力に大いに期待する。民生費の地域放課後支援業務、放課後KIDSルームについては、14カ所への拡大に感謝する。一日も早い全校への設置を要望する。

衛生費の健康診査業務における甲状腺エコー検査は、千葉県下で唯一行っていた感謝するが、血液検査も必要不可欠と考え、助成金のあり方を再検討すべきと指摘する。消防費の防災組織強化事業では、東日本大震災で汚染地域に指定されたことから、次の不測の事態に備え「原子力災害」の視点を防災計画に加えるべきと強く要望する。

# 委員会の審査から

2月25日・26日・3月6日・9日・10日・11日・12日に各委員会を開催し、提出された議案等について審査しました。

ここでは、その審査の中での主な質疑・答弁（要点）を掲載します。

（審議結果は2面に掲載）

## 総務財務常任委員会

議案第124号 平成26年度松戸市一般会計補正予算（第8回）

問 27年7月頃に予定される地域消費喚起プレミアム付商品券の販売をどう想定しているのか。また、その経済効果の検証は。

答 今回は、国および県の交付金を活用し、プレミアム率を30%に引き上げ、1万3千円分の商品券を1万円で購入する。より多くの市民の方が購入できるよう販売部数も12万部とした。国からの指導もあり、釣り銭を出さないよう500円券を混ぜて使いやすい商品券としたい。大量発行することから、発売場所や購入部数の制限等の詳しい販売方法について、現在、商工会議所と協議している。

今回、国から、交付金の活用にあたり事後にアンケート調査を行い、その地域に対する経済効果を把握するよう指示を受けている。市独自の産業連関表はないが、アンケート調査等で地域経済への効果を図っていききたい。

## 健康福祉常任委員会

議案第109号 松戸市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

問 国の方針は、消費税増税10%を見込んで低所得者の保険料の負担軽減を拡充するというものだったが、増税の先送りでのようになるのか。

答 国では、平成27年度4月に市町村民税非課税世帯のうち第1段階の方の負担軽減を予定している。また、消費税が増税になる29年4月以降には、第2・第3段階を含むすべての非課税世帯の負担軽減の予定を示している。

問 第6期介護保険事業計画では、27年度から3年間の高齢化率に対して、介護保険事業に要する費用の伸び率が高い。その理由とは何か。

答 総人口が増えない中、高齢者人口が増えるために費用負担が増すことや、要介護認定を受けている方が重度化していくことから費用が増すことを見込んでいたためである。

## 教育環境常任委員会

議案第104号 松戸市いじめ防止対策委員会条例の制定について

問 学校の現状を見ると、経験が比較的浅い若手教員が約4割という状況もある中、児童生徒と接する学校自体をサポートしていくことが非常に重要であると考え。市では、どのように考えているか伺う。

答 いじめ防止対策推進法が施行され、各学校ごとにいじめ防止対策委員会が組織されている。学校は月例報告を毎月市教育委員会にあげているが、そういった報告の前に、対策委員会が学校内のいじめの認知件数等を確認し、学校の中で情報を共有するという組織的な対応を行っている。問題があった場合には、教育委員会内でチームを組み、指導主事あるいはスクールカウンセラー、県のスーパードクター、スクールソーシャルワーカーなどを派遣できるような体制を、現在整えているところである。

## 建設経済常任委員会

議案第114号 松戸駅周辺まちづくり委員会条例の一部を改正する条例の制定について

問 条例の一部改正により新しく委員として加わる財務省職員の発言は、個人としての見解なのか、それとも財務省の意向として受け取られるのか。また、委員会では、議案からの意見が反映されていくと考えてよいのか伺う。

答 当該職員については、財務省職員としての立場で委員会に入るものであり、その発言は、当然財務省の意見として受け取ってほしいと考えている。平成27年度より、委員会の議論は新拠点ゾーンを含めた個別事業に移っていくため、その個別事業に対し財務省からのいろいろな意見等を伺い、松戸市のまちづくりについて一緒に考えていきたい。委員会での議論等は、適宜、議会にも報告させていただき、それぞれの議員の発言や提案は、委員会に伝えていきたい。

## 市立病院建設検討特別委員会

議案第88号 平成27年度松戸市病院事業会計予算

問 市立病院が東松戸病院を経営支援する理由とそのメリットは何か。

答 東松戸病院の緩和ケア病棟、地域包括ケア病棟への病棟再編は、現行体制の中で医療を高密度化するためのものである。

経営支援のメリットは、入院患者が市立病院から東松戸病院の地域包括ケア病棟に転院することで、在宅復帰率のカウントができることにある。この在宅復帰率は、急性期病院が7対1看護基準を維持する際の一つの指標として確保しなければならないものである。さらに、東松戸病院が後方支援病院の役割を果たすことで、市立病院の在院日数が短縮でき、病院事業全体の経営改善が図れると考えられる。また、一般会計からの負担金の増額補正をしないようにするため経営支援するものである。

# 一般質問

3月定例会では3月3日・4日・5日の3日間にわたり、市長の施政方針を中心に市政に関する一般質問を行いました。まず、7会派を代表する議員が、続いて会派に属さない議員3人が順次登壇しました。

## 公明党

諸角 由美

国の平成26年度補正予算への対応について

問 26年度補正予算に計上された国の交付金への本市の対応状況、特に地域消費喚起策の進捗は。

答 国の補正予算の成立により、本市でも「地方創生先行型」と「地域消費喚起・生活支援型」の2種類の交付金が受けられることになり、補正予算として本議会に提案した。「地域消費喚起・生活支援型」は、1冊1万3千円分の商品券を1万円で購入する消費喚起プレミアム付商品券と、中学生以下の全ての子どもを対象に1人当たり3千円の商品券を配付する子育て支援商品券を発行する事業を企画し、いずれも27年7月を目途に準備を進めている。

デマンド型交通（予約型運行形態の輸送サービス）の導入について

問 街づくり部だけでなく、福祉部局を巻き込んだ「デマンド型交通」の検討はできないか。

答 本市でも、高齢化などの進展に伴い、交通事業者の取り組みだけでは多様化するニーズへの対応が難しい状況となった。持続可能な地域公共交通網の形成に向け、27年度には市民へのアンケート調査を実施し、市民から見た交通不便地域を特定する。デマンド交通についても、福祉的視点を考慮しながら、各交通事業者と協議・検討していきたい。

小中学校におけるPFI手法による空調設備整備について

問 PFI手法を採用した本市小中学校への空調機整備のメリットと現在の進捗状況を伺う。

答 今回採用したPFI手法は、他方式と比較し総事業費が最も低く、国庫補助金が措置でき、整備期間が単年度で可能なこと、学校間の機器性能等の統一化が可能などから最も優位性が高いと判断した。現在の進捗は、27年1月に本事業の支援業務委託を発注し、今議会に「松戸市立小中学校空調設備整備PFI事業者選定委員会条例の制定について」を提案し可決された。今後は、28年3月に契約締結議案の提案を目指している。

# 松政クラブ

石井 勇

## 消防団を中核とした 地域防災力の強化について

問 「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」では、消防団を地域防災力の中核を担う代替性のない欠くことのできない存在と規定している。今後の消防団と自主防災組織の連携による地域防災力の充実強化について伺う。

答 近年、消防団が消防活動を行うことは少なくなっている。今後は、地域防災の担い手として、さまざまな教育訓練で指導的役割を果たしていただき、災害に強い市となるよう消防局も力を注いでいく。

## 松戸駅改良計画の進捗よく伺う

問 松戸駅改良工事の進捗よく状況および交渉経過について伺う。

答 平成30年度に松戸駅構内のバリアフリー施設整備、31年度に新たな駅ビルの完成を目指して協議をしてきた。しかし、2月上旬の協議において、JR東日本から、工事費の高騰により改良計画の内容および工程の見直しを進めており、26年度中の着手ができなくなったとの報告を受けた。引き続き、当初の計画通りの内容で進めていただくよう協議していく。

## ゾーン30の今後の整備状況は

問 通過交通が多い生活道路がある区域内の歩行者の安全確保を目的とするゾーン30（車の速度30キロメートル規制）の整備予定は。

答 本市のゾーン30の区域指定は、千葉県警察が設定した4地区11カ所について既に完了した。その後、六実の町会等より六実駅から県道松戸鎌ヶ谷線・火の見下交差点までの県道南側区域の生活道路についてゾーン30の指定要望があり、千葉県警察に要請した。その後の経過を所轄の松戸東警察署に確認したところ、千葉県警察の現場踏査は完了し、今後地域の方などに区域指定の範囲や安全対策の同意をいただくことになることである。引き続き、千葉県警察と協力しながら進めていきたい。

# 市民クラブ

末松 裕人

## 確かな学力を育む 学校教育の充実について

問 学校教育の一番の要は「教員の指導力」である。この指導力向上について市の取り組みを伺う。

答 教育力を維持・発展させていく上で、「教員の指導力向上」と「授業改善の推進」は重要かつ喫緊の課題である。一番重要なものは研修機会の充実であり、各学校では授業研究を中心として校内研修や若手から中堅教員を対象にスキルアップ研修を行っている。また、小中学校の若手研究員が教材開発等に取り組み、指導力向上と授業改善に努めている。さらには、Q-U（学級診断尺度）調査を生かした分析研修会も推進していきたい。

## 市民スポーツ活動の振興を

問 市民スポーツの振興は、体力の向上や健康の維持という本来の目的に加え、地域コミュニティを醸成する機会や場でもある。市は、受け皿となるスポーツ施設整備に、より積極的に対応するべきでは。

答 各地域で行われているさまざまな市民スポーツ活動への支援の継続とともに、スポーツ施設の整備は重要である。多くは老朽化が進んでいることから、公共施設再編計画と整合性を図り、既存施設の有効活用等を視野に、政策課題や地区別人口の動向等に対応しながら効果的に整備していきたい。

## 公共施設再編整備について

問 公共施設の再編整備計画は行政的にも政治的にも難しい課題であり、総力を挙げて取り組むべきである。市の見解とその評価の具体的な手法を伺う。

答 基本計画の策定にあたり、経済効果等の政策評価を行い、投資のあり方を反映させ、成長戦略的視点を持つべきと認識している。基礎評価、総合評価に加え、経済効果も含めた政策評価とするか、手法は今後の課題である。市民が納得するものでなければならず、公共施設再編整備推進審議会の意見等を伺い、策定作業の中で研究していきたい。

# 日本共産党

宇津野 史行

## 市長の政治姿勢について

問 戦後70年、世界平和都市宣言30年の節目の年にあたり、市長の平和に対する基本的認識を伺う。

答 戦争のない社会を目指し世界が平和になることは全ての人が願うことであり、今後も引き続き、世界で唯一の被爆国として、戦争の悲惨さや核兵器の恐ろしさを伝えていく。なお、公務員として日本国憲法を尊重することは当然のことと認識している。

## コミュニティバスの運行の 今後の進め方は

問 コミュニティバスの運行について新年度にアンケート調査を実施することだが、実施時期や範囲、規模について伺う。

答 本調査は、本市が目指す持続可能な地域公共交通網の形成に向けた取り組みの第一段階として、市民ニーズの把握や交通不便地域を特定するための基礎資料として実施する。時期は9月頃を予定しており、範囲は本市が定義・想定している交通空白地域を基本とするが、道路の起伏や河川や幹線道路による分断、公共交通による利便性の格差なども考慮する。規模は概ね4千世帯を想定しているが、アンケートの内容や対象範囲により追加したい。

## 一人ひとりが大切にされる 教育の実現について

問 教員の勤務実態と、長時間の超過勤務を是正する取り組みについて伺う。

答 勤務実態については、平成26年4月から27年1月までの1カ月平均で、超過勤務が80時間を超える人数は教員全体の6・6%、うち100時間を超える人数は1・6%となっている。対応策として、「マイノリ残業デー」「ノー部活デー」を設定する、ICTの活用により校務の効率化を図る、一つの部活動を複数で担当する、教育課程の工夫により学期末の短縮日課を増やすなどの取り組みを進めている。充実した教育実践を展開するためには、勤務時間の適正化は重要な課題であると捉えている。

# 市民力

山中 啓之

## 人口減少の傾向と原因の認識について

問 少子高齢化の進展に伴う人口減少社会への市の対策について伺う。

答 人口減少の傾向と分析において、自然動態では少子高齢化の傾向が現れており、社会動態では減少の要因と考えられた放射能のホットスポット問題の影響は沈静化したと推測している。また、転出入ともに最も影響が大きいのは東京都であり、近隣市では柏市・流山市・市川市である。数字に変化はあるものの、この傾向に大きな変化はない。平成25年度にアンケート調査をまとめた報告書では、子育て支援に関するさまざまな施策の効果や影響力が高いため、対策として引き続き推進していく。

## 人口減少社会への市の対策について

問 人口に合わせて職員も減少させることについての基本的な考えと、今後の職員採用のあり方は。

答 人口減少時代では、少子高齢化への対応などきめ細かい対応が地方の特性に応じて求められ、市が取り組むべき新しい課題が生じているため、市民サービスを効果的、効率的に提供できる実施体制を整えることが重要である。事務の効率化や多様化する市民ニーズへの対応方法となるアウトソーシングとして、業務の民間委託や指定管理者制度を活用し、事業を実施することを引き続き研究していく。職員の採用についても、欠員補充だけでなく、即戦力となる民間企業等職務経験者や任期付職員等の活用など、総合的な検討が必要と考える。

## 2020年東京オリンピック・パラリンピック 開催に向けての取り組みについて

問 練習会場などの提供を進める以外に取り組みはあるか。

答 外国人観光客への取り組みとして各種施設の案内表示などの国際化、多言語表示などを進めることや、パラリンピックや高齢化を想定したバリアフリーの推進も重要な取り組みと考える。

# 社民・無所属クラブ

二階堂 剛

## 待機児童解消対策について

問 小規模保育事業所の入所幼児などの保育環境を守るための定期的な管理についての考えは。

答 子ども・子育て新制度では、市が小規模保育所への認可および確認を行うこととなる。今後、児童福祉法で定められた定期監査を行い、子どもの心身の状況の把握や管理運営等が適切か調査し、連携施設からの支援とともに、市も相談・援助および必要に応じて巡回等を行う予定である。

## 高齢者世帯、単身世帯、ひきこもりの実態調査を

問 高齢者世帯、単身世帯、ひきこもりの実態調査のため、平成27年度早期に全戸訪問をするとのことだが、訪問内容等について伺う。

答 全戸訪問の実施検討の経緯としては、①一般高齢者に対する二次予防のための基本チェックリストによる悉皆調査が27年度から廃止されること、②アンケート調査の結果、地域の相談窓口である地域包括支援センターの認知度が低かったこと、③高齢者だけの夫婦世帯や単身世帯が増加していること、がある。今後、実施に向けて関係機関と協議していく。

## 本市の子どもたちの生活実態について

問 本市の子どもたちの生活実態、貧困問題などをどのように把握しているのか。

答 本市の小中学生の就学援助の状況は、全国平均を下回るものの、増加傾向にある。子どもの貧困問題は、家庭の経済状況と学力との間に相関関係があることが示されるなど、社会全体で取り組むべき重要な課題と認識している。

そのため、学校全体で組織的に児童生徒の状況を把握できる体制を心がけ、就学援助や奨学金等の手続きについても丁寧に説明するとともに、教育委員会や外部機関とも連携し、相談しながら対応している。引き続き、関係機関等の連携のもと、対策に取り組んでいく。

# 清松会

大橋 博

## 新病院建設に係る

### 別科目の関連事業費について

問 開院後の借地料と買い上げを含んだ用地費等約39億円は約4割を取得した試算に過ぎない。残り6割の取得をした場合の試算は行っているのか。

答 本事業の用地確保は30年間の長期賃貸借を基本としており、相続など地権者側の事由で買取りの要望があった場合には購入することになる。契約満了の30年後に残る借地は約3万1千600平方メートル、事業用地の約6割と想定し、これを現在の価格で購入した場合、新たに約15億円が必要と試算した。

## 東松戸駅発のバス路線について

問 東松戸駅発の松戸新京成バスを、新京成電鉄五香駅と行き来できるように路線に変更できないか。

答 東松戸駅までの延伸については、多くの要望を受け本市としても要請等してきたが、バス事業者との協議で、北総鉄道北総線との運行経路の競合や乗降客数の減少、乗務員不足により現時点では困難との見解が出されている。しかし、東松戸地区の人口増加に伴う需要を見据え、バス事業者に対し、延伸を引き続き強く働きかけ協議を重ねていきたい。

## 学校部活での指導の向上、改善のための具体的な取り組みについて

問 部活動での指導の向上、改善のための具体的な取り組みはできないか。また、現状分析で抽出された課題や今後の指針などを成果物にまとめることはできないか。

答 学校生活の意欲や満足度を確かめるQ-U（学級診断尺度）調査の結果からは、部活動を通じた豊かな人間関係づくりや指導力向上の取り組みの必要性を感じており、改めて指導していく必要性を認識している。そこで、平成27年度以降の「松戸市小中学校運動部活動指導の手引き」の改訂に向けた準備をしている。改訂に当たっては、生徒への部活動アンケート調査等も検討している。これらの取り組みを通じ、今後も部活動の充実を図っていく。

# 無所属

関根 ジロー

## 流鉄（流鉄流山線）

### 100周年記念について

問 房総の魅力500選にも選ばれている流鉄は、来年2016年3月14日が開業100周年である。これまで松戸地域の交通便利性に長年にわたり貢献している流鉄の100周年を、流山市と連携し、どのようなイベントにしていきたいのか。

答 記念事業については、市内外からの観光交流人口の増加を図るPR活動を行い、地域経済の活性化につながるイベントを行う方向で、現在、流山市と予算等を含め歩調を合わせ流鉄と協議を行っている。県とは、県民の日事業に併せ、沿線で県内外からの誘客を促す回遊性の高いイベントを行うための協議を重ねているところである。地域に密着した歴史ある路線を記念する年として、県、流山市、関係機関とともに地域の活性化のため盛り上げていきたい。

# 無所属

桜井 秀三

## 新病院と既存病院のあり方、

### 機能分割について

問 東松戸病院、上本郷の現市立病院は存続するのか。

答 千駄堀地区への新病院の建設にあたっては、市議会の市立病院建設検討特別委員会との審議を経て、承認された新病院基本整備計画（改訂版）を基に進めている。2025年に向けた医療提供体制の改革の中で、すでに始まっている病床機能報告制度では、市立病院は高度急性期機能を、東松戸病院は回復期機能・慢性期機能を担うものとして報告している。それぞれの病院の機能を充実させ、その特徴を生かし、連携することが有効と考えている。上本郷の現病院跡地等の検討を含め、平成27年度には市立2病院の今後のあり方を検討するための基礎調査等を行う予定である。

# 無所属

中田 京

## 固定資産税の納税者になる

### 考えはありませんか

問 昨秋、市長の資産が新聞等で公開された。何人も市長に対し資産等報告書の閲覧を請求できる、とのことから私も閲覧をしたが、本郷谷市長は市内に固定資産を有していない。松戸市に移り住む方たちにも固定資産税の納税者になっていただきたいということであるなら、もっとも確かな税である固定資産税の納税者に市長もなられてはどうか伺う。

答 現在、私の住まいは賃貸であるが、賃貸については、物件所有者が直接固定資産税を納めている。賃貸住宅に住む方は物件所有者に払う家賃を通じ、間接的に固定資産税を納めている。市内に住宅を所有し、直接的な固定資産税納税者になつてはどうかとのことだが、住宅に求めるさまざまな条件や考え方がるので、個人が自由に判断すべきと考える。

## 意見書4件提出

- 地方自治法第99条の規定により国会および関係行政庁に対し、次の意見書を提出しました。
- ヘイトスピーチ対策について法整備を含む強化策を求める意見書
- 都市農業の振興策強化等を求める意見書
- ドクターヘリの安定的な事業継続に対する支援を求める意見書
- 「核兵器のない世界に向けた法的枠組み」構築への取り組みを求める意見書

## 人事案件

人権擁護委員2人の推薦、教育委員会教育長および教育委員会委員1人の任命に同意しました。

- 人権擁護委員 森めぐみ
  - 教育委員会教育長 伊藤純一
  - 教育委員会委員 武田司
- (敬称略)



受彰者の皆さんと大井知敏議長

### 松戸市議会表彰

3月5日に、松戸市議会表彰を本会議場で執り行いました。

この表彰は、スポーツ・学術・文化・社会活動等で、特に功績のあった個人・団体に対し、松戸市議会が表彰を行い、功労に報いるとともに、市民の郷土愛を育むことを目的としています。



市立第一中学校吹奏楽部と合唱部の皆さんに「ジッパディードゥーダー」「リトルマーメイド」「COSMOS」を演奏していただきました。

### 個人表彰

白石 雅仁

(専修大学松戸高等学校)

★第69回国民体育大会 相撲競技少年男子個人戦 第1位

村山 龍

(専修大学松戸高等学校)

★神宮奉納第9回全日本ジュニア体重別相撲選手権大会 80kg以上100kg未満級 優勝

※専修大学松戸高等学校のお二人は卒業式のため欠席されました。

### 団体表彰

市立第六中学校 弓道部

最上段左側の写真

代表 石坂 夏希  
三浦 未来  
池内 綺音  
山川 真美

★平成26年度全日本少年少女武道(弓道)錬成大会 女子の部 優秀賞

市立第一中学校 吹奏楽部

最上段左側の写真

代表 中嶋 野乃夏  
高木 まゆか

★第62回全日本吹奏楽コンクール 中学の部 金賞

市立第一中学校 合唱部

最上段左側の写真

代表 佐藤 朱里  
二列右から三番目 高田 瑞樹

★第67回全日本合唱コンクール全国大会 混声合唱の部 金賞

市立第四中学校 吹奏楽部

★第62回全日本吹奏楽コンクール 中学の部 金賞

※第四中学校吹奏楽部の皆さんは3年生を送る会のため欠席されました。

市立和名ヶ谷中学校 吹奏楽部

最上段左側の写真

★第20回日本管楽合奏コンテスト全国大会中学校 B部門 最優秀賞

(敬称略)

### 会派別一覧

～会派の所属議員に一部変更がありました～

◎幹事長 ○副幹事長

<b>公明党</b> ◎ 正龍智 美之明尚理之一明幸美 ○ 所川木尾瀬橋東菅原角 ○ 城石鈴松岩高伊飯織諸	<b>松政クラブ</b> ◎ 杉石大鈴木張田平小 ○ 山井谷木村替居林沢 ○ 由 茂大み勝照俊暁 ○ 祥勇範介子雄康彦民	<b>市民クラブ</b> ◎ 末深沢市岩大山中 ○ 松山谷川堀井口川 ○ 裕能剛恵研知栄英 ○ 人一士一嗣敏作孝	<b>日本共産党</b> ◎ 宇津野橋田口木 ○ 高平山高 ○ 史妙きよ 行子み子健
<b>社民・無所属クラブ</b> ◎ 二階堂 L 剛一 薫 ○ D E 田	<b>市民力</b> ◎ 山 谷 原 ○ 中 口 裕 ○ 啓 裕 ○ 之 薫 二	<b>清松会</b> ◎ 大 箕 大 桜 ○ 橋 輪 塚 井 ○ 信 健 秀 ※ 博 矢 児 三	<b>無所属</b> 関 根 ジロー <b>無所属</b> 中 田 京 議員定数：44人 ※所属を変更した議員 (4月1日現在)

### 編集の窓

市内各地で卒業式など多くの行事がある中、3月定例会では各会派の代表質問等を行いました。また、平成27年度予算などが審議可決され、新年度に向けての準備が整いました。広報委員会では、毎月皆様に読みやすく分かりやすい「議会だより」をお届けしようとの思いで編集しています。ぜひ、次号も楽しみになさってください。

次回発行予定は

8月10日(土)です。